

精 神 科



1. 精神科の紹介

愛媛大学大学院医学系研究科 分子・機能領域 精神神経科学講座は、2026年より伊賀淳一教授の体制となり、愛媛県下の精神科医療を支えています。愛媛大学医学部の理念、「患者から学び、患者に還元する医療」のもと、教室として、

- ・ 患者のために最善を尽くし、常に患者中心の視点で行動する
- ・ 情報は最大限に収集し、観察を怠らない
- ・ 真実を追求し、常に前進し失敗を恐れない

をモットーとして、精神神経科学の発展のための生涯につながる研修を目標としています。臨床では、偏りなく精神科研修が行えるよう、総合病院、単科精神科病院などと連携しています。

2. プログラムの目的と特徴

まずは大学病院で、統合失調症や気分障害などの基本的な精神疾患から鑑別が重要な器質性精神障害までの診断・治療の基礎を学習します。発達障害や摂食障害、認知症も十分に経験できます。そのあとは、総合病院や精神科病院などで、幅を広げた医療を経験します。精神科医として必須の精神保健指定医と日本精神神経学会専門医は、必ず取得していただきます。その後、それぞれの希望により精神科の専門分野に進んでいただきます。研修のいずれの時期でも大学院進学は可能です。

3. 経験目標

精神保健指定医と精神神経学会専門医の取得に必要な症例の臨床経験・レポート作成、学会発表（年1回は必須）、論文作成（筆頭著者）が最低限の目標です。指導医と指導体制：チーム制による指導体制をとっており、後期臨床研修1年目は指導医のもとで主治医として診療に従事し、基本的な精神疾患の診療技術を学びます。随時、後期研修医向け勉強会、頭部画像・脳波判読会を実施しています。また、精神科病院との合同症例研修会、四国四大学合同研修会も行っています。また、お花見、クリスマス会など患者さんとのレクリエーションにも積極的に参加して頂きます。



四国4大学研修会後のソフトボール大会

4. 指導医と指導体制

教授	伊賀 淳一	分子精神医学・精神薬理学
教授	堀内 史枝	児童精神医学
講師	越智紳一郎	精神薬理学
講師	吉野 祐太	分子精神医学
特任講師	藏満彩結実	分子精神医学
助教	曾我 純也	一般精神医学
助教	久門 啓志	一般精神医学

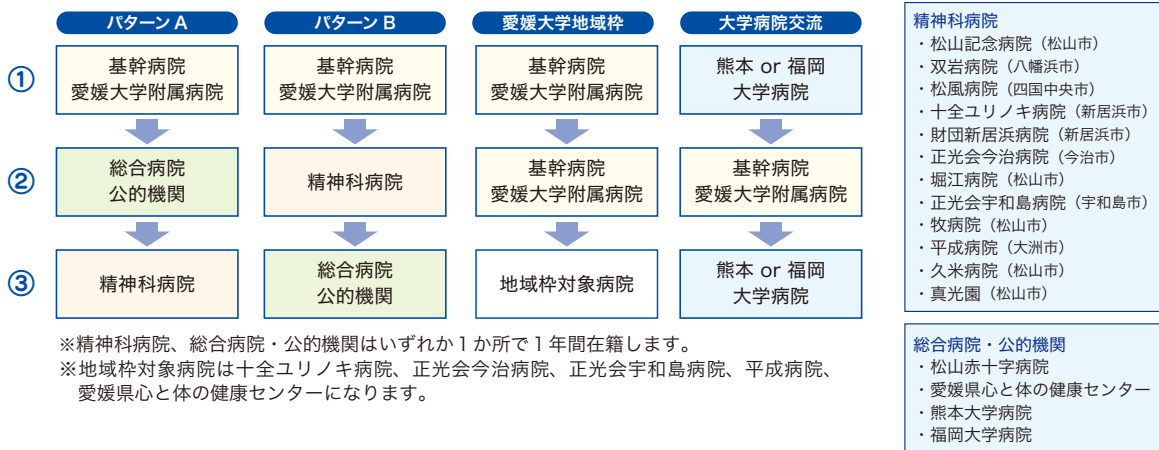
助教	細川 里瑛	児童精神医学
助教	井上 彩織	児童精神医学
助教	立花亜由美	老年精神医学
助教	舟橋 裕	一般精神医学
助教	松本 優	一般精神医学
助教	森 大晃	一般精神医学
助教	岡野真梨子	一般精神医学

5. 研修に関する行事

	月	火	水	木	金
AM	病棟カンファレンス	外来・病棟業務	外来・病棟業務	外来・病棟業務	外来・病棟業務
PM	回 診	老年精神医学カンファレンス	神経心理学カンファレンス	児童青年期精神医学カンファレンス	医局会

6. 新専門研修プログラム

〈ローテーションの例〉



7. 専門研修修了後について

精神科専門医取得後は、診療科の一員として大学病院あるいは関連病院で、精神科診療を行うこととなりますが、国内外の留学も可能です。他大学との交換プログラムも検討中です。できる限り、学位（博士）の取得を推奨しています。取得できる資格・専門医は、精神保健指定医、日本精神神経学会専門医、一般病院連携精神医学専門医、日本老年精神医学会専門医、日本認知症学会専門医、日本児童青年精神医学認定医、日本臨床精神神経薬理学会専門医、子どものこころ専門医、日本睡眠学会認定医などがあります。



カンファレンスの様子

8. 専門研修の問い合わせ先

担当：伊賀淳一（精神科教授・研修担当）

TEL：089-960-5315 E-mail：iga.junichi.it@ehime-u.ac.jp

